## 第1回 宮城・山形県境部の道路に関する懇談会の概要

1. 日時:平成26年7月9日(水) 13時30分~15時

2. 場所: 東急ビル 2F 会議室

3. 出席者:

門脇 雅之 宮城県土木部道路課長

菅井 時弘 山形県県土整備部道路整備課長

佐藤 良一 仙台市建設局道路部長

米澤 明男 国土交通省東北地方整備局道路部道路計画第一課長

種市 優 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所副所長

大場 義行 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所副所長

## 4. 議事:

- (1) 宮城県・山形県における地域連携
- (2) 道路構造と交通状況
- (3) 事業区間の状況
- (4) 国道48号における雪崩発生概要
- (5) 国道48号の観光期における交通状況

## 5. 議事内容(主な意見):

- 〇山形県側は経済交流の重要性から道路整備にも力を入れているが、宮城県側は整備が進んでおらず、震災時はこれが負荷となった。これを契機に県境道路の対策が重要視されており、復興計画の重点施策としている。
- 〇山形の経済活動は宮城に大きく依存しており、山形県としても宮城・仙台と連携強化したいと考えている。
- ○両県が抱える将来的な問題やビジョンを出しながら、道路での必要性を整理し目標を持って進めていくことが重要。
- 〇今後は、事故等の道路状況データを提示し、観光支援や渋滞解消のため何ができるか議論したい。 また、各県の産業面の強さを繋げる方策や、災害時に果たす役割について整理することが必要。

